

# 事業報告書

平成24年4月1日より平成25年3月31日までの事業概略を項目ごとにご報告申し上げます。

## 当協会の概況

平成24年度の当協会の主な事業として、育英事業、展覧会事業、パブリックアートの普及事業、国際交流事業などを推進して参りました。

育英事業として「瀧富士基金」奨学生及び「国際瀧富士美術賞」奨学生に奨学金の給費及び貸与を行いました。また展覧会事業として「交通総合文化展 2012」を開催しました。

それからパブリックアート普及事業においては、新潟空港ターミナルビル ステンドグラス作品を初め、その他の作品制作など設置・普及に協力しました。

## 当期の特記事項

当期は、JR 東京駅の改修が完了し、交通総合文化展の会場が JR 東京駅地下「動輪の広場」に戻りました。

それから本年も財団法人日本宝くじ協会にパブリックアートの普及事業の助成申請をしましたところ1億1千8百万円の助成が認められパブリックアート3作品を設置致しました。

## 活動状況

当年度の主な活動内容を項目ごとにご説明申し上げます。

### 1. 育英事業

#### (1) 【瀧富士基金】

「瀧富士基金」第46期奨学生の貸与生募集をしましたところ、本年は56名の応募がありました。

選考委員会を8月6日（月）に開き、厳正な審査の結果、36名の貸与生が新たに決まりました。また、貸与生のうち特に成績優秀な学生の中から貸与奨学金の全額または半額の返還を免除する給費生を3名〔全額2名・半額1名〕を選びました。また、貸与奨学金が増額される特待生を8名選考しました。

## **(2) 【国際瀧富士美術賞】**

もう一つの育英事業である「国際瀧富士美術賞」第33期奨学生の第一次審査会を8月20日（月）に、第二次審査会を9月19日（水）に開き、厳正な審査の結果、国内12美大13名、海外7美大6名の計19名の受賞者を選びました。また、25周年を期して制定したグランプリ（瀧理事長賞）を引き続いて授与することとし、10月29日（月）夜、東京會館で行われた授賞式において、特に優秀と認められた多摩美術大学の学生に通常の奨学金と合わせ、特別奨学金を贈呈して、その栄誉を讃えました。

## **2. 展覧会事業**

### **(1) 交通総合文化展 2012**

「交通総合文化展 2012」を「10月14日 鉄道の日」の関連事業として、10月15日（月）～20日（土）の6日間、JR東京駅地下「動輪の広場」特設会場で開催致しました。

「交通文化賞」の創設を記念して1954年（昭和29年）に発足した文化展は本年で59回の歴史を刻みました。

交通総合文化展は、「写真」（新日本観光写真展及び日韓親善観光写真展を併設）、「書」、「俳句」の3部門からなっています。昨年に引き続き、会期中、多くの人に観覧していただき、盛況のうちに無事に終了する事ができました。

同時に開催された日本画、洋画、書の大家、中堅作家の新作展である「溯瀧会」に、日本画家の鈴木竹伯先生（文化功労者）、洋画家の奥谷 博先生（文化功労者）、書家の高木聖鶴先生（文化功労者）など有名作家の作品34点が展示されました。

### **(2) 原宿ファッションジョイボード文化展**

JR原宿駅道路側の大型看板16面を使って、大腸がん撲滅キャンペーンを平成24年5月7日から平成24年11月27日まで開催し、その後、オリンピック・パラリンピックをニッポンに！をテーマとした「原宿ファッションジョイボード文化展」を平成24年11月28日から平成25年3月31日まで開催。（引き続き現在も開催中です。）

## **3. パブリックアートの普及・振興事業**

### **(1) パブリックアートの普及・振興**

財団法人日本宝くじ協会は、公益法人等が行う公益事業への助成を平成24年度も実施することになり、本協会として「平成24年度パブリックアート普及事業」

を申請しましたところ、助成が認められ、次の3箇所に作品を制作・設置致しました。

- ① 題名 : 佐渡ものがたり  
素材 : ステンドグラス  
設置場所 : 新潟空港ターミナルビル  
作家 : 東京藝術大学学長 宮田亮平先生  
寄贈先 : 新潟空港ビルディング株式会社(第三セクター)に無償譲渡
  
- ② 題名 : 立山  
素材 : 陶板レリーフ  
設置場所 : 富山空港ターミナルビル  
作家 : 日本画家 片岡球子先生  
寄贈先 : 富山空港ターミナルビル株式会社(第三セクター)に無償譲渡
  
- ③ 題名 : そらの港  
素材 : ステンドグラス  
設置場所 : 福岡空港国際線ターミナルビル  
作家 : 東京藝術大学名誉教授 野見山暁治先生  
寄贈先 : 福岡空港ビルディング株式会社(第三セクター)に無償譲渡  
委託契約費 :

その他、東急渋谷 **HIKARIE** にデジタルサイネージ円光を東京藝術大学教授 日比野克彦先生制作及び湯河原町に陶板レリーフ モニュメント「四季彩の塔」クレーター熱海ゆがわら工房の制作に協力しました。

## (2) 「くれあーれ にゅーす」の発行

パブリックアートの普及を目的に、本協会とクレーター熱海ゆがわら工房を紹介するため「くれあーれ にゅーす」第8号を平成25年3月発行しました。

第8号は、金工作家 宮田亮平東京藝術大学学長、独立行政法人理化学研究所理事長 野依良治先生、女優の檀 ふみ氏にご出席いただき、滝 久雄理事長の司会・進行で「21世紀は文化を尊ぶ文明社会を創らなくてはいけない」をテーマとする座談会やクレーター作品並びにクレーター熱海ゆがわら工房の紹介などを掲載致

しました。

#### 4. 国際交流事業

##### (1) 新日本観光写真展及び日韓親善観光写真展

この展覧会は、訪日外国人の皆様には日本の文化・芸術や観光地を紹介するため、交通総合文化展に併設、展示しました。

##### (2) 国際アマチュア・ペア碁選手権大会

第23回、国際アマチュア・ペア碁選手権大会は、世界21カ国・地域の代表と国内各地区(8ブロック)の代表計163組326名の参加を得て11月3日(土)、4日(日)の両日、東京・飯田橋のホテルメトロポリタンエドモントで開催し、結果は韓国代表ペアが日本代表ペアを破り、7年連続10回目の優勝を果たしました。

一方、一般参加で人気を博している「荒木杯ハンデ戦」は棋力別3ブロックに分かれ、今年も目いっぱいの131組262名が出場しました。

今回は、世界的デザイナーであるコシノジュンコ氏がベストドレッサー賞の審査委員長を務め、ベストドレッサー賞の上位3ペアと海外特別賞1ペアを選びました。

なお、当日は本協会としまして、外国から参加された方のために、日本の文化芸術を紹介する写真パネルを会場に展示し紹介に努めました。

以上